



祝祭日には   を掲げよう

金山町町制施行101周年記念企画

かねやま未来図

各地区から寄せられた「金山の未来」への思いをご紹介します。私たちが暮らす地域の未来について、ほんのひととき思いを巡らせてみませんか。

#25

一人ひとりの顔が見える地域づくり

小蟬地区 区長 ^{くりた} 栗田 ^{しんいち} 新一さん



▲小蟬地区で整備している花壇

13世帯/39名 ※令和8年7月末時点

私

たちの地区は、山々に囲まれた中山間地域にあり、以前は20戸ほどあった世帯も現在は13戸となりました。また、10戸以上あった農家も現在は4戸となり、地域を取り巻く環境は大きく変化しています。人口減少や高齢化など、これからの地域づくりには多くの課題があります。しかし戸数が少なくなったからこそ、一人ひとりの顔が見え、声を掛け合い、支え合える地域の良さを大切にしていきたいと思っています。特

にこの地域の大切な財産である田んぼを守っていくことも地域づくりの大切な役割です。農家が減る中でも地域みんなで知恵を出し合い、できる事を協力しながら田んぼや山、そして美しい景観を次の世代につないでいきたいと思っています。

「ここに住んで良かった」と思える、温かく安心して暮らせる地域を目指し、これからも13戸で力を合わせていきたいと思っています。

#26

安心して暮らせる地域づくりを目指して

漆野地区 区長 ^{たかはし} 高橋 ^{まさみ} 正美さん

漆

野地区は、漆野と春木の二つの地域から成り立っています。かつては地域内に分校があり、地区の行事も分校を中心に行われ地区民が集い、交流する大切な場所でありました。しかし平成8年に分校が廃校となり地域の様子も大きく変わっていききました。さらに、地区住民の人口減少や少子高齢化が進む中で、これまで行われてきた地区行事も少しずつ減っていききました。行事が減ることは、単に行事そのものがなくなる

ということではなく、地区の人々が集まり、顔を合わせ、行事を通して自然に生まれていた地区民同士のコミュニケーションの機会も次第に少なくなってきました。

今後も地区民の人口減少は避けられない事だと思われます。そんな中で地区内の隣同士が互いに気遣い、声かけあい、顔の見える関係を作っていくことで、困ったときには互いに助け合い、安心して暮らしていける地域にしていきたいと思っています。



▲漆野分校跡記念碑

23世帯/52名 ※令和8年7月末時点

編集
後記

この時期、国道13号線（山崎地区）を通りか

かると目に飛び込んでくる、ピンク色の花々。毎年、7月下旬になるとこの景色に出会えるのが、私のひそかな楽しみです。個性豊かな花壇やプランターのひとつひとつに、皆さんの愛情と「町をきれいにしたい」という温かい想いが詰まっているのを感じます。金山町の「入り口」として訪れる方を出迎えるだけでなく、私たち町民の毎日にも彩りを添えてくれる、「自慢の風景」だと思います。さて、皆さんの地区にはどんな「自慢の風景」がありますか？「うちの地区にはこんな活動もあるよ」という情報があれば、ぜひ広報担当までお知らせください。

金山町の人口は、4,467人（7月末現在）

 男性 2,224人（-5）
 女性 2,243人（+3）
 世帯数 1,657世帯

▼7月の異動
出生 0人
死亡 5人
転入 5人
転出 2人